

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

平成30年度 第9号
平成31年2月15日発行
〈発行・編集〉
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

「キャリア教育」 実践中!

「キャリア教育」を中核とした生き方教育を、直東学園で推進して4年目となります。

「スタンフォードの自分を変える教室」(ケリー・マクゴニガル著)に、キャリア教育の意義に通じると思われる面白い実験が掲載されていましたので、紹介します。

ニューヨーク大学の心理学者が、学生相手にある実験をしました。学生が、大画面TVの前に立つと、そこに60歳過ぎの自分が映し出される。自分が動くとき年を取った自分も動く。しゃべる姿はまさに年を取った自分。40年後の自分と対面するわけです。その後1000ドルの予算を与えられ、どう使うかを選択させられる。「生活費」「遊びのお金」「貯金」「退職金口座」…。

「年を取った自分」に出会った学生は、「普通の鏡で自分を見ただけ」の学生に比べ、2倍以上も退職金口座に振り込んだそうです。(多分、私もそうします。納得できる実験です。)

将来の自分を身近に考えるようになると、「今」できる限り最高の自分になろうとする意欲が湧く。逆に、身近に感じられない人は、自分の行動が後でどんな結果を招こうとお構いなしの行動や態度を取りがち…。(以上、概略)

自分の未来を具体的に考え感じる⇒今をどう過ごすべきかを真剣に考える。

ここに、キャリア教育を進める大きな意味が示されている。そんな実験だと感じました。



直東学園では、キャリア教育を通して、右の表のような資質・能力を育もうとしています。先の実験は、「キャリアプランニング能力」の育成に関わることだと考えます。

育てたい資質・能力
人間関係形成力
自己理解・自己管理能力
課題対応能力
キャリアプランニング能力
郷土愛

今年度も、各学校で様々な実践を積み重ねています。

春日新田小学校の6年生総合的な学習では、キャリア教育を中核に据え、「プロフェッショナル仕事の流儀」をテーマに「GU(アパレル企業)」「うみがたりの飼育員」「カイロプロクター」「パティシエ」「医師」「介護福祉士」「県立近代美術館の芸員」「自衛隊員」「富寿司の寿司職人」「水先案内人」「美容師」「保育士」「薬剤師」「IT企業(テラスカイ)」「教師」等々の様々な職の方々ところに訪問したり、学校に来てもらったりしながら、「働きがい」「仕事の意義」「働く上で大切なこと」等々たくさんの方々のことを学び取る学習を進めています。

自分の特性や性格を振り返りつつ(自己理解し)、働く人の姿から自分のやりたい仕事を考え続けようとする(キャリアプランニングの力を付け続ける)。この繰り返し、生き方教育になっていくと考えています。引き続き、地域やご家庭の皆様のお力添えをお願いいたします。

北諏訪小学校の取組

【低学年】～協働性と課題解決力の育成～

1年生は、うさぎの世話やさつまいも作りをしました。友達と確かめ合いながらうさぎを世話したり、焼き芋や芋巾着を調理してみんなで食べることを目標にしたりして、頑張って活動に取り組みました。2年生は、季節に応じて合計13種類の野菜作りをしました。種から実へと成長し、また種ができる過程から命のつながりを実感したり、できた野菜を食べることで人間も生かされていることを学んだりしました。



【中学年】～共感性や地域構想力の育成～

地域探検や校外学習、環境を中心テーマとして学びを深めました。3年生は、住んでいる町を探検し、改めて地域の魅力を発見しました。校外学習では、よく行くスーパーを見学し、相手のことを考えた接客や言葉かけについて学びました。4年生は、川や海の環境について学んだり、エコについて学び、自分たちにできる事は何かを考えたりしました。



【高学年】～自己管理能力と課題対応力の育成～

今まで学んできた事や複数の教科につながるを持たせ、多面的に資質や能力を育成する活動を行いました。5年生は通年で米作りを行いました。社会科の内容も踏まえて、水の管理の重要性や用具等についても深く学びました。地域の方に稲刈り、脱穀のお手伝いをしていただきながらコミュニケーションの大切さも改めて学びました。6年生は、仕事や働くことについて学びました。専門の講師の方をお呼びしたり、出向いたりしながら、知識を増やしていきました。職場体験も行い、実感の伴う深い学びができました。



保倉小学校の取組

教育活動全般を通して、5つの資質・能力を育む活動に取り組んできました。実践をする上で大切にしてきたことは「人とかかわる」「社会とつながる」「自分を見つめる」の3つの視点です。

【社会とつながる】

5年生は、総合的な学習の中核を「食と農」とし、春から米作りに取り組んできました。9月には自分たちの稲刈りを終えた後、大月の棚田(牧区)へ校外学習に行ってきました。そこでは、大月の町内会長をされている今井重雄さんからお話を伺うことができました。「昔は菅笠で隠れてしまうような小さな田んぼで、食べていくために、生きていくために米を作って食べていた。一粒の米も無駄にできなかった」という話に大変感動しました。そして、「しっかり食べてしっかり生きてもらいたい」という今井さんからのメッセージをずっしりと受け止めて帰ってきました。子どもたちは、食の大切さとともにたくましく生きぬいてきた今井さんの強さを学びました。



【人とかかわる・自分を見つめる】

「ほくら人権の日」には、「サイレントマジックショー 障がいをはりこえ夢と感動を与える」と題して、ミスターかわづ様の講演会を行いました。聴覚に障がいがあるかわづ様が、努力を重ねて世界大会に出場するほどのマジックを身に付けたお話を聞くと、会場からは手話での拍手が起こりました。また、マジックショーの最後には手話であいさつを交わしました。あきらめずに夢を追うことのすばらしさを学び、自らの夢を見つめる機会となりました。



有田小学校の取組

今年度、有田小学校は、小猿屋小学校と春日新田小学校の半数以上の児童とが一緒になり、新設校として活動を始めました。

そのため、今年度は新しい友達との出会いを大切にしながら自分を見つめる活動に取り組んできました。その中でも、自分の将来を見据えた6年生の活動を紹介します。

<6年生の実践>

～人との出会いから～

～見つめよう自分 はばたこう未来へ～

【生き方発見】

一年を通して、警察官や芸人さん、教育実習生など、様々な分野で働いている方や夢をもって努力している方に話をお聞きしました。



「社会に出て大切なこと」を学んだり、自分の夢を広げたりしながら、なりたい自分の姿を考えました。

【職場訪問】



2学期には、美容室や本屋、消防署など、いろいろな職場をグループに分かれて訪問しました。

短い時間でしたが、各職場のご厚意で貴重な体験をさせていただくことができました。職員の方や店のお客さんと接して人とのコミュニケーション力の大切さを感じたり、丁寧な言葉遣いや笑顔で仕事に取り組む姿勢を学んだりすることができました。

体験を通して自分自身を見つめ、感じた自分のよさや努力点を将来に向けて生かしていこうとする気持ちを高めました。



春日新田小学校の取組

キャリア教育を教育課程の中核に据え、生活科や総合的な学習の時間と関連付けた教科横断的な活動や、行事の実施に取り組んできました。柱にした「人にかかわる」「社会とかかわる」「自分を見つめる」の3つの視点に沿って実践を紹介します。

<人にかかわる>

行事等で、異学年交流（なかよし班）の充実を図りました。運動会や絵画展、読書週間などでも異学年交流を取り入れました。高学年は自分の役割を自覚しリーダーシップをとったり、下学年は仲間と協力して活動できるようになり、一人一人の共感性、協働性が高まってきました。



【なかよし班で鑑賞会】

<社会とかかわる>

3年生は、総合的な学習の時間に地域の良さを調べました。地域を盛り上げるために祭りの主催者にお話を聞いたことをきっかけに、350祭りに参加しました。子どもたちは、地域の人に喜んでいただこうと、今までの経験を生かし、歌の披露や屋台のアイデアを出すことができました。本番の350祭りには、大勢の客さんが来てくれました。



【ステージで歌を披露】

自分たちにも、地域のためにできることがあることに気づき、人のために役立つことの喜びを味わうことができました。

<自分を見つめる>

「夢創造、ナビゲーション月間」に合わせ、夏休みの課題として「将来の夢について家族との対話」を全校で実施しました。自分を見つめる機会の一つになりました。

直江津東中学校の取組

【1年生の取組】

○ようこそ先輩

10名の卒業生を講師に迎え、お話を聞きました。小学校教諭、保育士、弁護士、システムエンジニアなど、様々な職種の方々から、仕事をする上で楽しさや苦しさを教えていただきました。

生徒も自分の生き方を考えることができ、とても良い時間を過ごすことができました。



【2年生の取組】

○立志式

「義務教育7年半を振り返り、卒業までの1年半の目標を立てて学校生活に臨むこと」をねらいとし、厳かな雰囲気の中、立志式が行われました。例年とは違い、「夢を語ろう」と題したグループワークを行いました。



“プロのサッカー選手になる”“保育士なる”“親孝行をしたい”など、お互いの夢を語り合いました。

代表生徒の誓いの言葉では、「将来の具体的な夢はまだ決まっていませんが、人の役に立ち笑顔を見られる仕事がしたい。二度とない中学校生活を楽しみたい」と述べました。式の最後には、各町内会長の皆様から、一人一人、立志のバッジをいただきました。

【3年生の取組】

○高校調べ、高校生に聞く会

3年生は、現在の進路である高等学校等について調べる活動、さらに先輩の高校生に話を聞く活動に取り組みました。単に進学する高校について調べるだけではなく、これまで学んだことを総合して、自分の将来と関わらせながら学習を深めました。

4 小学校共通の取組

【マスコミに学ぶ】学習会(5学年)

10月29日に、直東学園にある4つの小学校の5年生172名が有田小学校に集まり、「マスコミに学ぶ」学習会を行いました。

5年生は社会科でマスコミの仕事について学習します。この合同学習の機会でも、4小学校が共通の内容を学習することができます。また、5年生は将来の自分の仕事について思いを巡らせる時期です。キャリア教育の視点から、「マスコミという仕事に誇りとやりがいをもって努力するプロの姿」から学ぶことを期待しました。

そこで昨年度に引き続き、新潟日報上越支社の齊藤一記者とJCV上越ケーブルビジョンの鶴見幸恵アナウンサーを講師にお招きしました。

齊藤さんからは、新聞記者を目指した経緯や記者としての心構え、仕事のやりがいなど、取材現場をもとにした話をいただきました。鶴見さんからは、アナウンサーの仕事で大切にしていること、相手に伝わるアナウンスをするための日々のトレーニングなどの話をいただきました。また、早口言葉を取り上げられ、子どもたちは興味をもって挑戦していました。

子どもたちからは、「小さい時から夢をもってがんばることが大切だということが分かった」「なりたかった仕事についても準備や努力を続けていることにびっくりした」等の感想が出ました。

なお、北諏訪小、保倉小の児童は初めて有田小を訪れました。新鮮な気持ちで学習に取り組める機会ともなりました。会場を快く提供していただいた有田小学校さんに感謝します。

